## 瓦屋かわら版

2020年 3月号



## 制マツザワ瓦店

美せます・魅せます・日本一を目指します!

**T454-0021** 

愛知県名古屋市中川区横堀町 3-32

TEL: 052-361-2713

FAX: 052-353-7257

メールアドレス:info@yane119.net

<mark>ホームページ:http://www</mark>.yane119.net

## 3.11 東日本大震災から9年。

平成23年3月11日 14:46 東日本大震災発生 マグニチュード9.0 震度7 死者19689名・不明2563名・負傷者6233名

東日本大震災から約9年が経ちます。被災者の方・ご遺族の方々におきましては長い9年間だったことと 思います。私たちもこの甚大な被害を生んだ災害を忘れないよう。改めて振り返りましょう。

当時、弊社の社長(松澤)や職人は震災食後から現地(栃木県宇都宮市を中心)で復興活動を行いました。 屋根の養生や現場調査、瓦の補修を朝から夜まで手分けして行いました。





マツザワ瓦庄で補修をした屋根です

瓦が散乱して養生ができません

ブルーシート養生の状態です

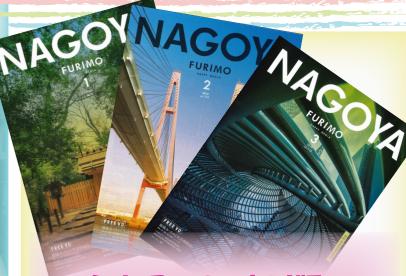
東日本大震災の経験を活かし、私たちは平成 28 年 4 月 14 日発生の熊本地震や平成 30 年 6 月 18 日発生の大阪府北部の復興活動にも尽力致しました。

瓦屋根は世界に誇れる伝統と歴史をもつものですが「地震に弱い」というイメージがネットやニュースにより出回ってしまいました。実際はその情報は誤っており、平成13年以前に屋根を葺いたお宅で、【耐震工法】で施工をしていない屋根が崩れていることがほとんどです。

今の最新の工法に瓦を補修・葺き替えすることでこれからの大きな地震に備えることができます。 最新の工法(ガイドライン工法)は昔の災害地震により見直されてきましたが、平成13年より 以前はガイドラインとなる工法はなく、職人さんのやり方一つで変わってしまうものでした。 弊社ではガイドライン工法で施工されていない屋根が被災している現場を目の当たりにしたことで より屋根を地震に強いものにすることを大事にしたいと思いました。現状もまだガイドライン工法 にならって工事をしていない屋根業者さんは沢山いますが、弊社は皆さまにより安全に過ごすこと が出来る屋根をお引渡しできるようガイドライン工法を取り入れています。



古きを知り、日々新しい技術・素材を取り入れ、より快適な、皆さまの生活の"守り神"としての屋根を創作するシンボルとして、屋根神様を当社のキャラクターとして採用しました。



名古屋フリモ中川版 4月号に掲載されます

東日本大震災や屋根の最新工法に ついて左記の記事よりもさらに詳しく 掲載しております。

中川区にお住まいの皆様、 是非ご覧ください!

※フリモ:地域みっちゃく生活情報誌

中川区内で83,800部発行されている

無料配布のフリーペーパーです